

# かたらいの路 高尾～大戸コース

日時：2019年12月4日（水） 天候：晴 歩数：16000歩 約7.5km 健脚LV1

集合：JR高尾駅南口10時

コース：高尾駅南口（171m）→初沢北公園→金比羅山登山口→（金比羅尾根コース）→金比羅神社→四辻→（東高尾山稜コース）→丸太ベンチ→拓大分岐→草戸峠→草戸山（364m）・松見平休憩所→大地沢青少年センター<sup>林</sup>（218m）→青少年センター入口バス停→（バス）→橋本駅（140m）

参加者：市村L 中村ゆSL 山田SL 勅使河原 平石 熊坂 斉藤 清水 丹後 加納喜 奥村 畠 三田  
13人

この日は、当初「南高尾山稜を歩き学習の歩道で高尾山へ」を予定していました。しかし、台風15号、19号の影響で1カ月近くたった11月中旬になっても、大垂水～大洞山間と中沢峠～西山峠間が通行止めの状態。復旧目処立たず、「かたらいの路：高尾～大戸コース」に変更しました。

12月4日の高尾山の気象予報は降水確率0%、集合の高尾駅に降り立ちました。快晴です。金比羅神社から東高尾山稜を歩き、ゆるやかなアップダウンを繰り返しながら町田市の最高峰となる標高364mの草戸山（写真）へ、そして大地沢青少年センターへ下る「かたらいの路」です。参加者13人、どのような「かたらいの路」が待っていたのでしょうか・・・



## JR高尾駅南口～初沢北公園 ストレッチ&コース説明～金比羅山登山口

集合はJR高尾駅南口。高尾駅というと集合は通常、小仏行きや陣馬高原下行きバス乗り場がある北口。はたまた当初コース予定の集合場所は京王高尾山口駅。みなさん、間違いなく到着していただけるか・・・、心配が的中、北口にお二人、高尾山口にお一人。それでも集合時間5分前に13人全員集合。南口には「KEIO JR 高尾駅」と書かれています。左がKEIO改札、右がJR改札。JRから高尾山口駅に行く人は改札を出ずに京王線に乗り換えていきます。

9時55分、サブリーダーの中村さんを先頭にスタート。10分ほどで初沢北公園へ、奥村さんのストレッチリードで身体をほぐします。手前左の後姿は山田サブリーダー、身体柔らかいですね。市村が「東高尾山稜のゆるやかなアップダウンを繰り返しながら草戸山を目指します。草戸山からは大地沢センターへ下ります。先頭は中村SL、最後尾は山田SLです。昼食は、時間と場所のスペースがらみで①丸太ベンチ②草戸峠③草戸山の何れかとします」とコース説明。10時15分スタート、金比羅山登山口は公園横です。



## 登山口～いきなりの急登金比羅尾根コース～金比羅神社（256m）

コース説明で「ゆるやかなアップダウンを繰り返しながら」と説明しましたが、いきなりの急登。みなさん行く手を見上げています。「ウソー、すごい上りよ～」の声が聞こえてくるようです。つづら折りの上り道で高度を上げていきます。ようやく尾根道へ出て、「金比羅尾根コース」を実感。整然とした一列縦隊になりました。

10時30分、標高256mの金比羅神社へ。15分で約80m上ってみなさん汗だく、衣類調整をして水分補給です。説明板に「江戸時代に地元の村民が、浅川を鎮め五穀豊穰・家内安全・商売繁盛などを願って、眺望のすぐれたこのお山に大権現を祀った」と、浅川金比羅大権現の由来が書かれていました。



## 金比羅神社～表参道～下りの金比羅尾根コース～東高尾山稜北端

5分ほどの小休憩をしてスタート。金比羅神社表参道の急峻な石段を下ります。神社に参拝するにはこの参道しかないようですので、石段を上らなければ神社にたどり着けません。参道を外れて山道をひたすら下ります。「金比羅神社・高尾駅」方面の案内標識がありましたが、草戸山方面の標識は見ることができませんでした。民家があるところまで下りてきました。とはいっても住んでいる人は歩かないような細い山道です。

10時45分、「高尾駅」「四辻・草戸峠」の分岐標識のあるところに出ました。東高尾山稜北端です。ここまでが金比羅尾根コース、ここからは東高尾山稜コースです。



## 東高尾山稜北端～アップダウン繰り返しの東高尾山稜コース～四辻

東高尾山稜コースは、起点は金比羅尾根コースと同じ高尾駅、三和団地分岐を経て東高尾山稜北端へ来て、草戸山～三沢峠までのコース。今回は草戸山まで歩きます。

大分下ったので最初は上りです。ゆるやかなアップダウンを繰り返しながらと言いたいですが、かなり急峻なところもあります。ときおり右手から京王線の電車走行音が聞こえてきます。展望の良いところへ出て水分補給、小休憩。手前から広大な高尾霊園、紅葉台団地、そして八王子市郊外、東京都心が見えました。

再びアップダウンの尾根道を歩いて11時25分に四辻、右に下りると15分ほどで京王線高尾山口駅です。



## 四辻～心地よい風吹く木洩れ日差す尾根道～同じ鍋の豚汁食べた連帯感

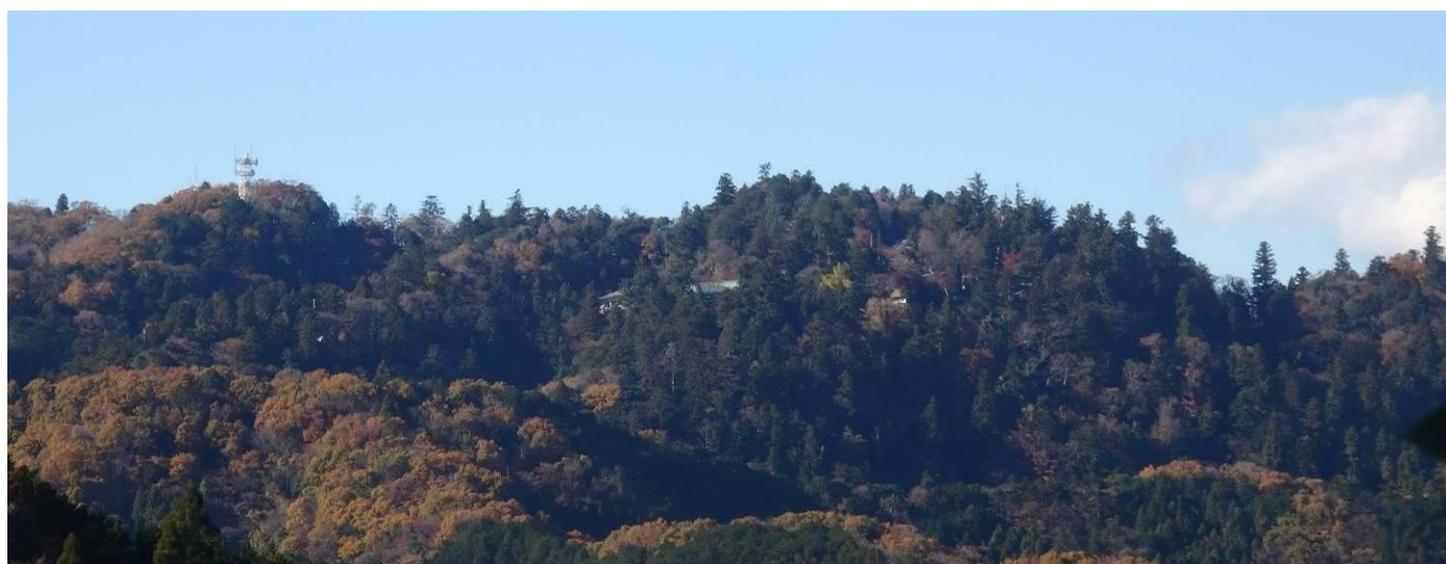
四辻を過ぎると電車走行音も聞こえません。高尾山メインコースと違い、すれ違うハイカーもほとんどいません。心地よい風を感じながら木洩れ日差す尾根道を歩きます。そろそろ昼食タイムですが、ベンチのある適当な場所が見つかりません。12時になろうとしていたので、少しスペースがある場所で昼食タイムとしました。熊坂さんが準備してきてくれた豚汁を、女性たちがコンロで温めてくれて美味しくいただきました。お替り自由で2杯、3杯いただいた人もいます。「同じ鍋の豚汁を食べた」仲間の連帯感が深まりました。



## 午後スタート～拓大分岐～梅の木平分岐～草戸峠・高尾山を一望

ゆったりと昼食タイムをとって13時02分、さあ午後のスタートです。最初は急峻な下り、足元に注意して草戸山を目指します。10分ほど進むと拓大分岐、左側は広大な拓殖大学の敷地になっていてバラ線で囲われています。さらに10分ほど進むと梅の木平分岐、右手に下りると甲州街道の梅の木平へ出ます。

13時27分、草戸峠に着きました。左に下りると大地沢青少年センター、草戸山はすぐ上ですがベンチで一息。ここからは高尾山が一望できます。左手に高尾山のパラボラアンテナ、中央に薬王院の建物が見えます。



## 草戸峠～草戸山（364m） 丹後さんと斉藤さんの山頂踏破ポーズ

草戸峠を出て5分ほど13時38分、町田市の最高峰草戸山山頂（364m）到着です。丹後さんと斉藤さんに踏破ポーズをお願いしました。ベストショット2枚です。展望台からは橋本市街地が一望できました。



## 草戸山～境川源流標識～大地沢青少年センター シモバシラ&小仏層

14時丁度下山開始です。少し下ると「境川源流入口」の標識がありました。境川は、藤沢市の江ノ島付近で相模湾に流れ込む延長約52kmの二級河川です。「いつか河口から源流まで歩くコースがあれば楽しそう」などと会話しながらの余裕の下山。大分下りて14時25分、大地沢青少年センターに着きました。トイレタイムを兼ねて小休止、10分ほど上れば境川源流、バス停は反対方向へ下ります。

ふたつの珍しいもの発見。ひとつは、シソ科の多年草植物シモバシラです。初冬に茎からひれ状に氷が張り出し霜柱状になります。もうひとつは、およそ1億3500年から7000年前ほど前の白亜紀の「小仏層」です。



## 青少年センター～落ち葉踏みしめてのかたらいの路～バス停～橋本駅

青少年センター入口バス停は少し離れています。次のバス発車時刻は14時54分、落ち葉を踏みしめてのかたらいの路でした。「静かな尾根道歩き良かったね」「あれだけ歩いて最高地点が364mは納得いかないね。800mほど上った感じ」などと話されていました。ちなみに累積標高差は500m近くあります。最後尾を歩いてくれました山田SL、加納さんとの何とも言えない男の後ろ姿、どんなかたらいをしているのでしょうか。

最期は少し急ぎ足でバス停へ、丁度バスが来て全員座れました。法政大学キャンパスなどを経て15時21分、橋本駅北口へ着きました。



1万6000歩、7.5kmの「かたらいの路高尾～大戸コース」でした。それぞれのかたらいがあったかと思っています。それでもかたらい足りなかったと思われる10の方が、サイゼリヤへ。

(いちむら記)